

科目名称：	初級日本語Ⅱ	
担当者名：	桜井正美, 長田明子, 田中裕子, 寺崎祐子, 鹿野みどり	
区分	授業形態	単位数
留学生別科に関する科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
初級日本語Ⅰにひきつづき、初級文法を理解し、日常生活に必要な基本的な会話能力、聴解能力を身につける。また、短い読み物を読んだり、身近な事柄について書いたりする力を養う。		
授業の達成目標・到達目標		
本科進級前の予備教育として、初級文法を習得し、定着させ、運用する実力を身につけることを大前提とする。そのため「読む、書く、聞く、話す」の4技能がバランスよく身につくよう、日本の文化や習慣に関する短い読み物を読み、身近な日記風のものから文化の違いなどについての感想を書き、日常生活で役に立つ自然な会話を理解し、自分の体験や考えなどが正確に表現できるようになることを目標とする。また、母語からくる発音や発話の癖を矯正し、コミュニケーションが滑らかに行えるようになることも到達目標とする。		

留学生別科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		15	25	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
文法理解	文法構造を理解し正しく使え、様々な場面で応用できる	文法構造を理解し正しく使うことができる	文法構造を理解し不正確であっても、使うことができる	文法構造を正しく理解できない
話すこと	人物や生活、学校環境、日課、好き嫌いなど身近な話題を簡単な言葉や文を使って十分に説明できる	人物や生活、学校環境、日課、好き嫌いなど身近な話題を簡単な言葉や文を使ってある程度説明できる	人物や生活、学校環境、日課、好き嫌いなど身近な話題を、限られた簡単な言葉や文を使って説明できる	人物や生活、学校環境、日課、好き嫌いなど身近な話題について、限られた簡単な言葉や文を使っても説明が困難

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 「みんなの日本語Ⅰ」復習	語彙・文法の予習(第1回)	30分
第2回 「みんなの日本語Ⅰ」復習、小スピーチ	語彙・文法の復習(第1回)及び予習(第2回)小スピーチの準備	30分
第3回 「みんなの日本語Ⅰ」復習、小スピーチ	語彙・文法の復習(第2回)及び予習(第3回)小スピーチの準備	30分
第4回 「みんなの日本語Ⅱ」L27、小スピーチ	語彙・文法の復習(第3回)及び予習(第4回)、小スピーチの準備	30分
第5回 「みんなの日本語Ⅱ」L29、小スピーチ	語彙・文法の復習(第4回)及び予習(第5回)、小スピーチの準備	30分
第6回 「みんなの日本語Ⅱ」L31、小スピーチ	語彙・文法の復習(第5回)及び予習(第6回)、小スピーチの準備	30分
第7回 「みんなの日本語Ⅱ」L33、小スピーチ	語彙・文法の復習(第6回)及び予習(第7回)、小スピーチの準備	30分
第8回 復習(L31～L35を中心に)、小スピーチ	L31～L35の復習をまとめておく、作文作成	30分
第9回 「みんなの日本語Ⅱ」L37、小スピーチ	予習(第9回)、小スピーチの準備	30分
第10回 「みんなの日本語Ⅱ」L40、小スピーチ	語彙・文法の復習(第9回)及び予習(第10回)、小スピーチの準備	30分
第11回 「みんなの日本語Ⅱ」L42、小スピーチ	語彙・文法の復習(第10回)及び予習(第11回)、小スピーチの準備	30分
第12回 「みんなの日本語Ⅱ」L44、小スピーチ	語彙・文法の復習(第11回)及び予習(第12回)、小スピーチの準備	30分
第13回 「みんなの日本語Ⅱ」L46、小スピーチ	語彙・文法の復習(第12回)及び予習(第13回)、小スピーチの準備	30分
第14回 「みんなの日本語Ⅱ」L48、小スピーチ	語彙・文法の復習(第13回)及び予習(第14回)、小スピーチの準備	30分
第15回 総復習	語彙・文法の復習	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、語彙・文法の復習及び予習・スピーチの準備をすることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

宿題 15%、授業への積極的関与・授業内での発表 25%の総合評価

課題に対するフィードバック

授業内での発表について、良い点、改善点等をフィードバックする。

教科書・参考書

教科書:『みんなの日本語初級Ⅰ』『みんなの日本語初級Ⅱ』『初級で読めるトピック25』教科書の該当ページを開きながら解説・運用練習を行う

参考書:『みんなの日本語初級Ⅰ 翻訳・文法解説書 各国語版』『同Ⅱ』以上スリーエーネットワーク発行